



# Microsoft Excel レポートの例

## Active IQ Unified Manager 9.8

NetApp  
January 31, 2025

# 目次

Microsoft Excel レポートの例 .....	1
アグリゲートの容量の表とグラフを表示するレポートの作成 .....	1
アグリゲートの合計容量と使用可能容量のグラフを表示するレポートの作成 .....	4
使用可能なボリューム容量グラフを表示するレポートの作成 .....	7
IOPS が最も高いアグリゲートを表示するレポートの作成 .....	10

# Microsoft Excel レポートの例

このサンプルの Microsoft Excel レポートは、Excel の高度な機能を使用して利用できるレポートオプションを紹介することを目的としています。

Excel の高度な機能を使用すると、ニーズに合わせてさまざまなレポートを作成できます。Excel の使用方法の詳細については、製品マニュアルを参照してください。



レポートを管理するには、アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

## アグリゲートの容量の表とグラフを表示するレポートの作成

合計とクラスタ化された棒グラフ形式を使用して、Excel ファイルの容量を分析するレポートを作成できます。

作業を開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

このタスクについて

次の手順に従って、健全性を開きます。すべてのアグリゲートビュー、Excel でのビューのダウンロード、使用可能な容量グラフの作成、カスタマイズした Excel ファイルのアップロード、最終レポートのスケジュール設定を行います。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、\* Storage \* > \* Aggregates \* をクリックします。
2. [\* レポート >] > [Excel のダウンロード \*] を選択します。



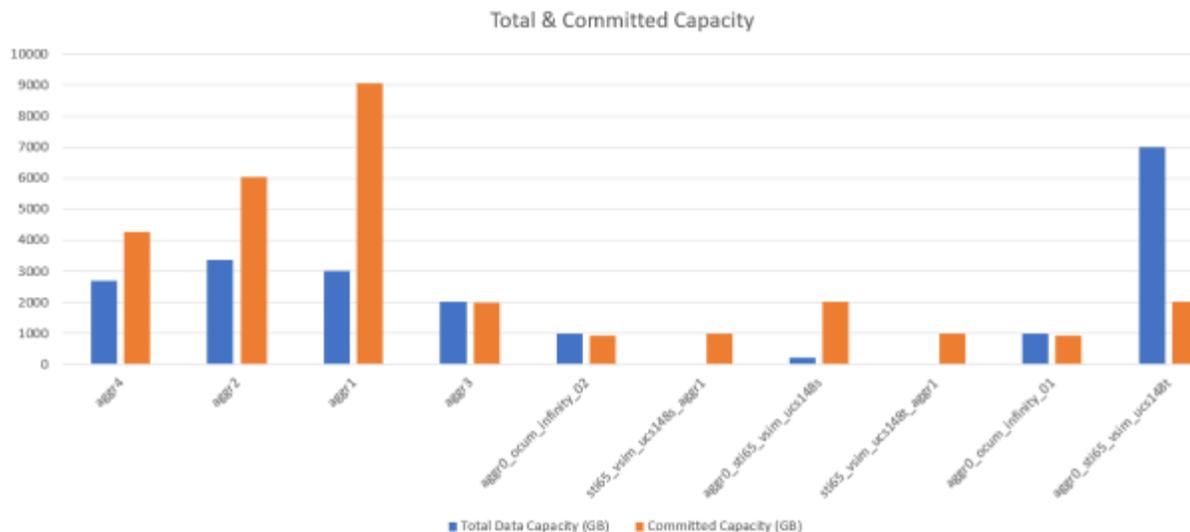
ブラウザによっては、ファイルを保存するために \* OK \* をクリックする必要があります。

3. 必要に応じて、\* 編集を有効にする \* をクリックします。

4. Excel で、ダウンロードしたファイルを開きます。
5. 新しいシートを作成します (  ) をクリックします data シート名と名前\*総データ容量\*。
6. 新しい合計データ容量シートに次の列を追加します。
  - a. 合計データ容量 ( GB )
  - b. コミット済み容量 ( GB )
  - c. 使用済みデータ容量 ( GB )
  - d. 使用可能なデータ容量 ( GB )
7. 各列の最初の行に、次の式を入力します。必ずを参照してください data シート (data!) をクリックし、取得したデータの正しい列と行の指定子を参照します (合計データ容量は列Eの行2から20までのデータを取得します) 。
  - a. = 合計 ( DATA ! E\$2 : DATA ! E\$20 )
  - b. = 合計 ( DATA ! F\$2 : DATA ! F\$50 )
  - c. = 合計 ( DATA ! G\$2 : DATA ! G\$50 )
  - d. = 合計 ( データ ! H\$2 : データ ! H\$50 )
 数式は、現在のデータに基づいて各列の合計を計算します。

Total Data Capacity (GB)	Committed Capacity (GB)	Used Data Capacity (GB)	Available Data Capacity (GB)
5380.31	6892.47	11764.27	3911.03

1. をクリックします data シートで、合計データ容量 (GB) 列とコミット容量 (GB) 列を選択します。
2. [ \* 挿入 \* ( Insert \* ) ] メニューから [ \* 推奨チャート \* ( Recommended Charts \* ) ] を選択し、 [ \* クラスタ化された列 \* ( \* Clustered Column
3. グラフを右クリックし、[グラフの移動]を選択して、グラフをに移動します Total Data Capacity シート (Sheet) :
4. グラフを選択したときに使用できる \* デザイン \* および \* フォーマット \* メニューを使用して、グラフの外観をカスタマイズできます。
5. 必要に応じて、ファイルに変更を保存します。ファイルの名前や場所は変更しないでください。



6. Unified Manager で、 \* Reports \* > \* Upload Excel \* を選択します。



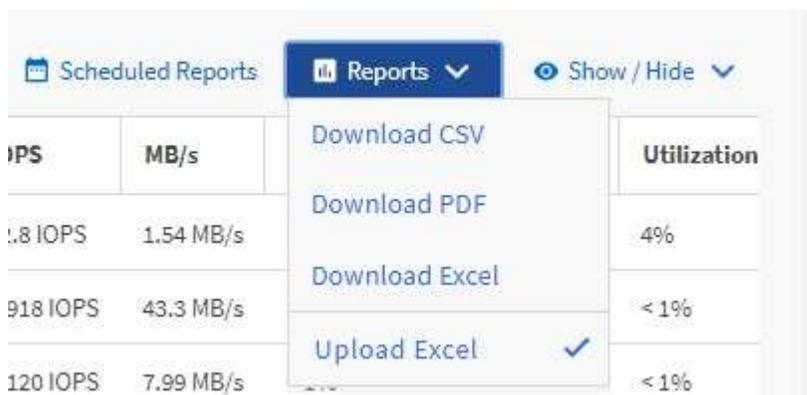
Excel ファイルをダウンロードしたときと同じビューに表示されていることを確認します。

7. 変更した Excel ファイルを選択します。

8. \* 開く \* をクリックします。

9. [Submit (送信) ] をクリックします。

[Reports>\*Upload Excel\*] メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。



10. [スケジュール済みレポート] をクリックします。

11. [\* スケジュールの追加 \*] をクリックして、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるように、[レポートスケジュール \*] ページに新しい行を追加します。



レポートの **XLSX** 形式を選択します。

12. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドに情報を入力して、チェックマーク (✓) をクリックします。

レポートはテストとしてすぐに送信されます。その後、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者に E メールで送信されます。

## 完了後

レポートに表示された結果を基に、ネットワーク全体で使用可能な容量を最大限に活用する方法を調査できます。

## アグリゲートの合計容量と使用可能容量のグラフを表示するレポートの作成

ストレージの合計容量とコミット済み容量を Excel グラフ形式で分析するレポートを作成できます。

### 作業を開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

### このタスクについて

健全性を開くには、次の手順を実行します。すべてのアグリゲートビュー、Excel でのビューのダウンロード、合計容量とコミット済み容量のグラフの作成、カスタマイズした Excel ファイルのアップロード、最終レポートのスケジュール設定。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、\* Storage \* > \* Aggregates \* をクリックします。
2. [\* レポート >] > [Excel のダウンロード \*] を選択します。



ブラウザによっては、ファイルを保存するために \* OK \* をクリックする必要があります。

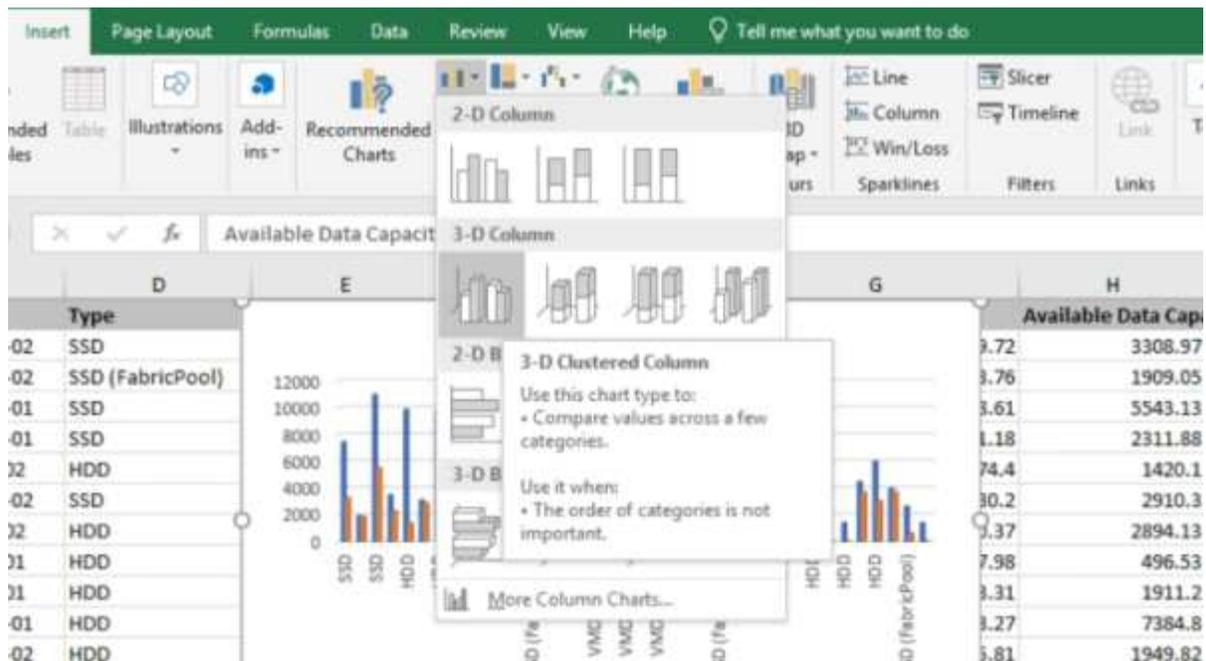
3. Excel で、ダウンロードしたファイルを開きます。
4. 必要に応じて、\* 編集を有効にする \* をクリックします。
5. をクリックします data シートで、を右クリックします Type 列を選択し、ソート>\*ソートAからZ \*を選択します。

Type	Committed C
SSD	58
SSD (FabricPo	31
SSD	74
SSD	06
HDD	51
SSD	.5
HDD	51
HDD	51
HDD	51
HDD	07
HDD	54
HDD	23
SSD (FabricPo	59
SSD (FabricPo	Sort A to Z

これにより、次のようなストレージタイプ別にデータが配置されます。

- HDD
  - ハイブリッド
  - SSD の場合
  - SSD ( FabricPool )
6. を選択します Type、 Total Data Capacity`および `Available Data Capacity 列 (Columns)  
:
7. [挿入 (Insert \*) ]メニューで、を選択します 3-D columnチャート。

グラフがに表示されます data シート (Sheet) :

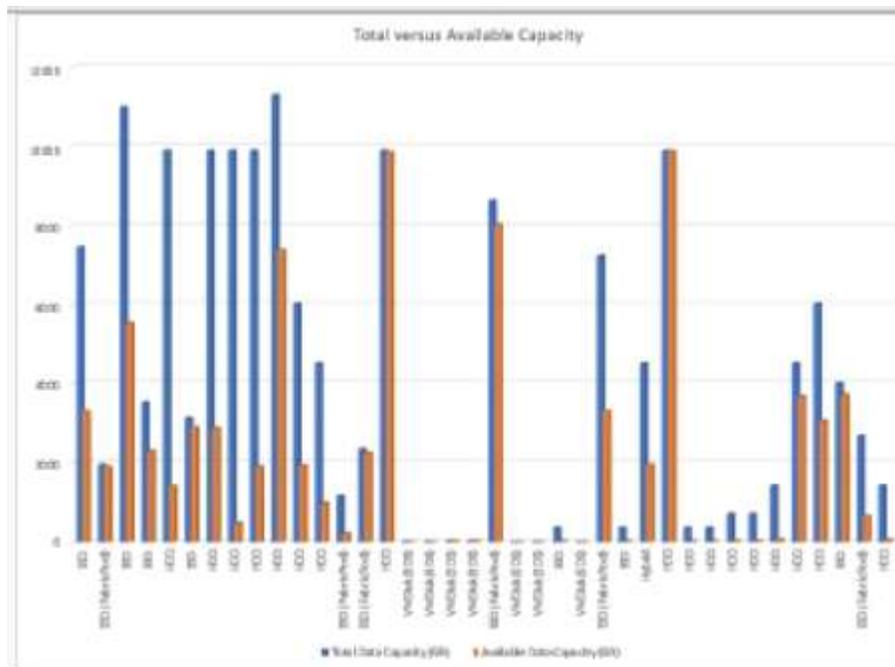


8. グラフを右クリックして、\*チャートの移動\*を選択します。
9. [新規シート\*]を選択し、シートに「Total Storage Charts\*」という名前を付けます。



新しいシートがの後ろに表示されていることを確認します info および data シート (Sheets) :

10. グラフのタイトルに「\* Total versus available Capacity \*」と入力します。
11. グラフを選択したときに使用できる \*デザイン\* および \*フォーマット\* メニューを使用して、グラフの外観をカスタマイズできます。
12. 必要に応じて、ファイルに変更を保存します。ファイルの名前や場所は変更しないでください。



13. Unified Manager で、 \* Reports \* > \* Upload Excel \* を選択します。



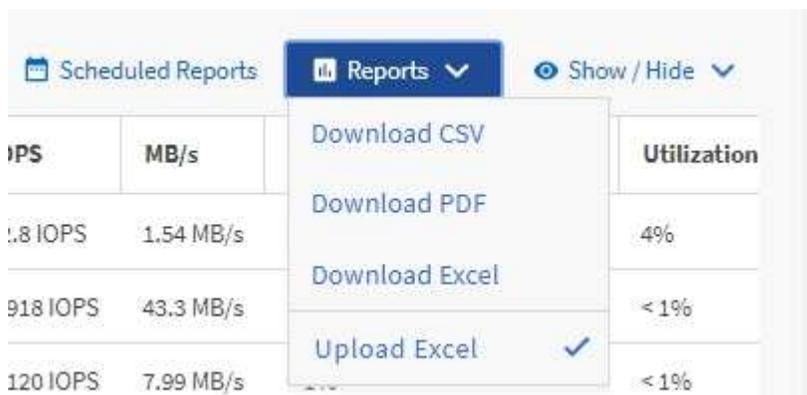
Excel ファイルをダウンロードしたときと同じビューに表示されていることを確認します。

14. 変更した Excel ファイルを選択します。

15. \* 開く \* をクリックします。

16. [Submit (送信) ] をクリックします。

[Reports>\*Upload Excel\*] メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。



17. [スケジュール済みレポート] をクリックします。

18. [\* スケジュールの追加 \*] をクリックして、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるように、[レポートスケジュール \*] ページに新しい行を追加します。



レポートの **XLSX** 形式を選択します。

19. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドに情報を入力して、チェックマーク (✓) をクリックします。

レポートはテストとしてすぐに送信されます。その後、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者に E メールで送信されます。

## 完了後

レポートに表示された結果を基に、アグリゲートの負荷を分散できます。

## 使用可能なボリューム容量グラフを表示するレポートの作成

Excel グラフで使用可能なボリューム容量を分析するためのレポートを作成できます。

### 作業を開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

## このタスクについて

次の手順に従って、健全性を開きます。すべてのボリュームビュー、Excelでのビューのダウンロード、使用可能な容量グラフの作成、カスタマイズしたExcelファイルのアップロード、最終レポートのスケジュール設定を行います。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、\* Storage \* > \* Volumes \* をクリックします。
2. [\* レポート >] > [Excel のダウンロード \*] を選択します。



ブラウザによっては、ファイルを保存するために \* OK \* をクリックする必要があります。

3. 必要に応じて、\* 編集を有効にする \* をクリックします。
4. Excel で、ダウンロードしたファイルを開きます。
5. をクリックします data シートで、で使用するデータを選択します Volume および Available Data % 列 (Columns) :
6. [挿入 (Insert \*)]メニューで、を選択します 3-D pieチャート。

使用可能なスペースが最も多いボリュームがチャートに表示されます。グラフがに表示されます data シート (Sheet) :

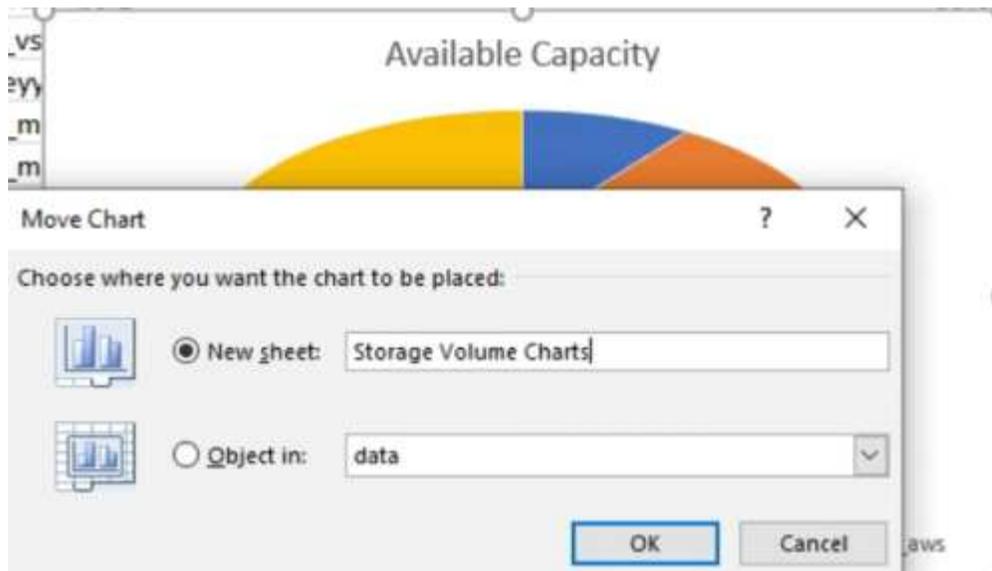


ネットワーク構成によっては、列全体またはデータ行が多すぎると、円グラフが読めなくなることがあります。このサンプルでは 3-D 円グラフを使用していますが、任意のグラフタイプを使用できます。最適なグラフには、キャプチャするデータが表示されます。

7. グラフのタイトルに「\* Available Capacity」という名前を付けます。
8. グラフを右クリックして、\* チャートの移動 \* を選択します。
9. [新規シート \*] を選択し、シートに「\* ストレージ容量チャート \*」という名前を付けます。



新しいシートがの後ろに表示されていることを確認します info および data シート (Sheets) :



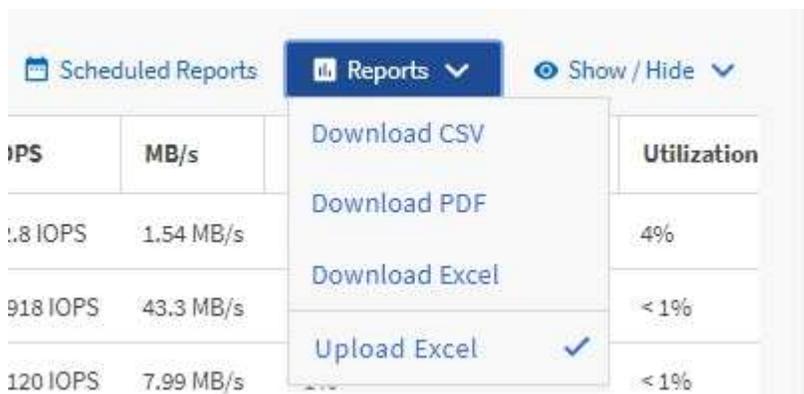
10. グラフを選択したときに使用できる \* デザイン \* および \* フォーマット \* メニューを使用して、グラフの外観をカスタマイズできます。
11. 必要に応じて、ファイルに変更を保存します。
12. Unified Manager で、 \* Reports \* > \* Upload Excel \* を選択します。



Excel ファイルをダウンロードしたときと同じビューに表示されていることを確認します。

13. 変更した Excel ファイルを選択します。
14. \* 開く \* をクリックします。
15. [Submit (送信) ] をクリックします。

[Reports>\*Upload Excel\*] メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。



16. [スケジュール済みレポート] をクリックします。
17. [\* スケジュールの追加 \*] をクリックして、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるように、[レポートスケジュール \*] ページに新しい行を追加します。
18. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドに情報を入力して、チェックマーク (✓) をクリックします。



レポートの **XLSX** 形式を選択します。

レポートはテストとしてすぐに送信されます。その後、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者に E メールで送信されます。

## 完了後

レポートに表示された結果を基に、ボリュームに負荷を分散できます。

## IOPS が最も高いアグリゲートを表示するレポートの作成

このレポートには、新しいワークロードをプロビジョニングできるアグリゲートタイプごとの IOPS が最も使用可能なアグリゲートが表示されます。

### 作業を開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

### このタスクについて

次の手順に従って、健全性を開きます。すべてのボリュームビュー、Excel でのビューのダウンロード、使用可能な容量グラフの作成、カスタマイズした Excel ファイルのアップロード、最終レポートのスケジュール設定を行います。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、\* Storage \* > \* Aggregates \* をクリックします。
2. View \* ドロップダウンから \* Performance : All aggregates \* を選択します。
3. を表示するには、\*表示/非表示\*を選択します Available IOPS を表示および非表示にします Cluster FQDN、Inactive Data Reporting`および `Threshold Policy 列 (Columns) :
4. をドラッグアンドドロップします Available IOPS および Free Capacity の横にある列 Type 列 (Column) :
5. カスタムビューに名前を付けて保存します Available IOPS Per Aggr。
6. [\* レポート >] > [Excel のダウンロード \*] を選択します。



ブラウザによっては、ファイルを保存するために \* OK \* をクリックする必要があります。

7. 必要に応じて、 \* 編集を有効にする \* をクリックします。
8. Excel で、ダウンロードしたファイルを開きます。
9. をクリックします data シートの左上にある小さな三角形をクリックして、シート全体を選択します。
10. [データ]リボンで、から[並べ替え]を選択します Sort & Filter 面積 (Area) :
11. 次のソートレベルを設定します。
  - a. 「並べ替え基準」を指定します Available IOPS (IOPS)、ソートオン\*を指定します **Cell Values**、および\*注文 AS `Largest to Smallest.
  - b. [レベルの追加] をクリックします。
  - c. 「並べ替え基準」を指定します Type、ソートオン\*を指定します **Cell Values**、および\*注文 AS `Z to A.
  - d. [レベルの追加] をクリックします。
  - e. 「並べ替え基準」を指定します Free Capacity (GB)、ソートオン\*を指定します **Cell Values**、および\*注文 AS `Largest to Smallest.
  - f. [OK] をクリックします。
12. Excel ファイルを保存して閉じます。
13. Unified Manager で、 \* Reports \* > \* Upload Excel \* を選択します。



Excel ファイルをダウンロードしたときと同じビューに表示されていることを確認します。

14. 変更したExcelファイルを選択します (この場合) performance-aggregates-<date>.xlsx。
15. \* 開く \* をクリックします。
16. [Submit (送信) ] をクリックします。

[Reports>\*Upload Excel\*] メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。

Scheduled Reports		Reports	Show / Hide
IOPS	MB/s	Utilization	
1.8 IOPS	1.54 MB/s	4%	
918 IOPS	43.3 MB/s	< 1%	
120 IOPS	7.99 MB/s	< 1%	

17. [スケジュール済みレポート]をクリックします。
18. [\* スケジュールの追加\*]をクリックして、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるように、[レポートスケジュール\*]ページに新しい行を追加します。
19. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドに情報を入力して、チェックマーク (✓) をクリックします。



レポートの **XLSX** 形式を選択します。

レポートはテストとしてすぐに送信されます。その後、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者に E メールで送信されます。

## 完了後

レポートに表示された結果を基に、使用可能な IOPS が最も高いアグリゲートに新しいワークロードをプロビジョニングできます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。